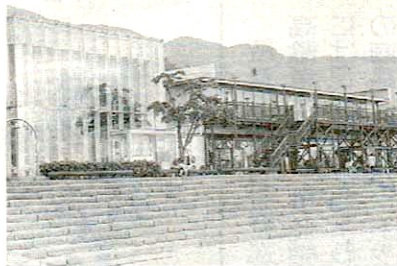


(伊予市双海町)

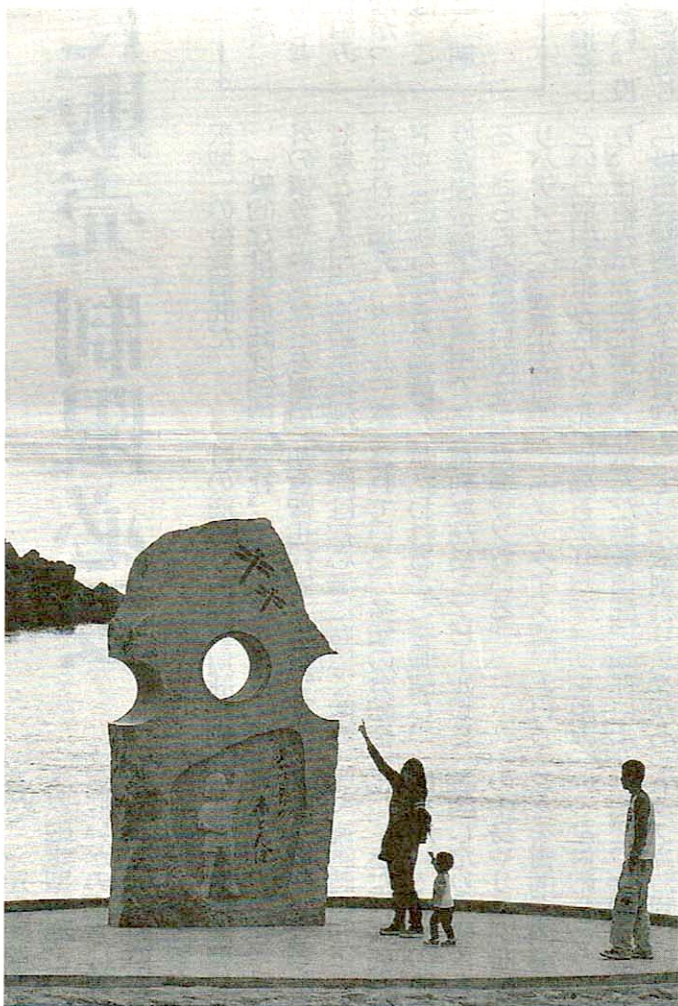


ガラス張りのイベントホール(左)とレストラン(右)がある。砂浜に降りる石段は「夕日の観覧席」

オレンジ色に染まった伊予灘の水面が揺れ、砂浜をそぞろ歩く2人の影が近づいた。ドライブで訪れた松山大3年の女子学生(20)は「潮風を浴びる時間が心地いい」とほにかみ、傍らの恋人に寄り添った。

「日本の夕陽百選」の景観が美しい伊予市双海町。国道378号沿いのふたみシーサイド公園「道の駅ふたみ」は、NPO法人地域活性化支援センターが選定する「恋人の聖地」の一つでもある。

開業した1995年に旧双海町職員が、人工海浜を保護



夕日に照らされる「恋人岬」のモニュメント

# 夕陽百選 恋せよ乙女

する防波堤の一本を恋人岬と命名したのが聖地の由来。「幸福の鐘」や、男女が手をのせて愛を誓う「願い石」など、聖地を演出する仕掛けでカッブルを迎える。

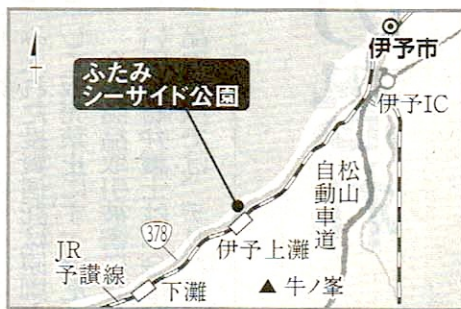
展望台の手すりには「FOREVER(永遠)」「LOVE」が、恋人岬先端の石のモニュメントを自動照射する。黄色や緑、紫と色調を変化させ、

「夏場のビーチの楽しさと砂浜をロマンチックに彩る。海水浴シーズンには、季節限定の「夕やけこやけステーション」が開局する。今年は6月30日〜8月26日の土、日曜と祝日に計19回、園内放送を行い、昼間は家族向け、夕方は恋人たちのための音楽を流す予定だ。

「夏場のビーチの楽しさと

ともに、空気の澄んだ春秋の夕焼けがいいんです」と亀田さん。春分と秋分には、モニュメントの石孔を通して夕日を望め、キャッチフレーズ通りに「しずむ夕日が立ちどまる町」を体感できる。

(松山支局 原典子)



**メモ**

農産物の販売は午前10時〜午後6時(月曜定休)。併設のレストランは午前11時〜午後7時(火曜定休)。海開きは6月24日。初

春水仙花祭りなど任民主権のイベントも多彩で、秋から春にかけては公園南の牛ノ峯から飛び立ったパラグライダーが浜辺に着地する。普通車120台が駐車可能。伊予市双海町高岸甲23266。☎0899-988600